

文化財 NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



文化財パトロール ～ 南会津町 ～ ⑤

9月12日(木)南会津町において、藤生熊野神社、田出宇賀神社に保存されている御正躰(みしょうたい)の文化財パトロールを行いました。御正躰とは、神仏習合の信仰により、鏡の板に神仏の像を刻んだり、貼り付けたりしたものです。「懸仏(かけぼとけ)」とも呼ばれ、社寺に奉納し、礼拝されています。

とうにゆうくまのじんじゃみしょうたい 藤生熊野神社御正躰

南会津町藤生地区にある熊野神社に奉納された御正躰です。附指定(つれたりして：文化財本体に関連する物品や資料等を本体と併せて文化財指定すること)されたものも併せて、計8面が保存されています。

裏板に、康永2年(1343年)と年代が書かれたものもあり、形式と年代の一致するものでは、田島地域最古のものだそうです。



た で う が じんじゃみしょうたい 田出宇賀神社御正躰

田島地区にある田出宇賀神社に奉納された御正躰です。附指定されたものも併せて、計7面が保存されています。

裏板に、長元2年(1029年)、康永3年(1344年)と年代が書かれたものもありますが、形式に比べて年代が古く感じられるそうです。



Google Earth

文化財パトロールを行っているのは、県の文化財保護指導委員である佐藤淳一さんです。佐藤さんは、下郷町立江川小学校や南会津町立田島第二小学校などで校長を務められ、現在は下郷町で飲食店の経営をされながら、会津中街道(江戸時代に整備された、栃木と会津とを結ぶ街道)の研究を中心に、様々な文化財に関わられています。

佐藤さんの話をうかがっていると、域内各地に散らばる文化財も、歴史的にみると深いつながりがあることがわかってきます。「今回のパトロールは2巡目ですが、毎回新たな発見があります。」と佐藤さん。文化財研究の奥深さと面白さを感じることができました。

